

吹田市立総合福祉会館条例現行・改正案対照表

\_\_\_\_\_は改正箇所

現 行	改 正 案
<p>(設置)</p> <p>第1条 高齢者、障害者及び<u>母子家庭</u>の福祉の増進を図ることを目的として、総合福祉会館を設置する。</p> <p>(施設及び事業)</p> <p>第3条 <u>吹田市立総合福祉会館</u> (以下「会館」という。)に次の施設を置く。</p> <p>(1) } -----略-----</p> <p>(2) }</p> <p>(3) <u>母子福祉センター</u></p> <p>2 } -----略-----</p> <p>3 }</p> <p>4 <u>母子福祉センターは、次の事業を行う。</u></p> <p>(1) <u>母子相談等</u></p> <p>(2) <u>技能習得事業</u></p> <p>(3) <u>その他市長が必要と認める事業</u></p> <p>(使用者の範囲)</p> <p>第4条 会館の施設を使用することができる者は、次に掲げるものとする。</p> <p>(1) 市内に居住する高齢者、障害者、<u>母子家庭の母子及び寡婦</u></p> <p>(2) -----略-----</p> <p>(3) 市内の高齢者福祉団体、障害者福祉団体及び<u>母子関係福祉団体</u></p> <p>(4) }</p> <p>(5) } -----略-----</p> <p>(使用料等)</p>	<p>(設置)</p> <p>第1条 高齢者、障害者及び<u>ひとり親家庭</u>の福祉の増進を図ることを目的として、総合福祉会館を設置する。</p> <p>(施設及び事業)</p> <p>第3条 <u>総合福祉会館</u> (以下「会館」という。)に次の施設を置く。</p> <p>(1) } -----略-----</p> <p>(2) }</p> <p>(3) <u>ひとり親家庭の利用に供するための施設</u></p> <p>2 } -----略-----</p> <p>3 }</p> <p>(使用者の範囲)</p> <p>第4条 会館の施設を使用することができる者は、次に掲げるものとする。</p> <p>(1) 市内に居住する高齢者、障害者、<u>ひとり親家庭の母子及び父子並びに寡婦</u></p> <p>(2) -----略-----</p> <p>(3) 市内の高齢者福祉団体、障害者福祉団体及び<u>ひとり親家庭関係福祉団体</u></p> <p>(4) }</p> <p>(5) } -----略-----</p> <p>(使用料等)</p>

現 行	改 正 案
<p>第8条 会館の施設の使用料は、次項に規定する者を除き、無料とする。ただし、市長は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第38条第1項又は知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）<u>第27条</u>の規定により、行政措置を受けて第3条第3項第2号に掲げる事業を利用した者から当該行政措置に要する費用を徴収する。</p> <p>2 } 3 }                    -----略-----</p>	<p>第8条 会館の施設の使用料は、次項に規定する者を除き、無料とする。ただし、市長は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第38条第1項又は知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）<u>第27条第1項</u>の規定により、行政措置を受けて第3条第3項第2号に掲げる事業を利用した者から当該行政措置に要する費用を徴収する。</p> <p>2 } 3 }                    -----略-----</p>